



令和5年4月17日
令和5年度学校だより NO.2①
加古川市立平荘小学校

進級・入学おめでとうございます 令和5年度がスタートしました

温かい春の日差しに包まれて、校庭は、春真っ盛りです。気持ちを新たに新学期がスタートしました。子どもたちは、進級の喜びと期待を胸に、元気に登校しています。この気持ちを大切に、令和5年度が充実した一年になりますよう、教職員一同、力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



《始業式：『校長の話』より》



一つ目は、人を大切にしましょう。「自分がされていやなことは人にはしません」思いやりの心で友達と過ごしましょう。そして、自分から気持ちの良いあいさつをしていきましょう。

みなさん、令和5年度がスタートしました。今年度は、平荘小学校の最後の一年となります。創立130年という長い長い歩みを締めくくる年です。本校の特色である狂言学習でも、総まとめをする年です。

201

この数字は、何を表しているでしょうか。この数字は、(4月7日を含めて)みなさんが平荘小学校に登校するする日数です。この数字は、日が経つにつれてどんどん小さくなって(減って)いきますが、逆に増えていくものもあります。一日一日、充実した時を過ごしながら、平荘小学校での楽しい思い出をいっぱい作っていきましょう。

そこで、頑張ってほしいこと(意識してほしいこと)を3つ話します。

二つ目は、病気やけがをせず、元気に過ごしましょう。命はたった一つしかないかけがえのない命です。大切にしてください。



三つ目は、しっかりと話を聴きましょう。自分の力を伸ばすにも、相手を大切にするにも、話を聴くことはとても大切なことです。昨年度、みなさんは、話の聴き方がどんどん上手になりました。続けましょう。

平荘小学校最後の一年が、平荘っ子やお家の方々、そして、地域の方々にとって、心に残る一年になるようにしていきたいと思います。みんなで力を合わせて頑張りましょう。

進級の喜びが伝わってきました

4月7日（金）の始業式の子もたちの様子を見ていると、進級した喜びが態度からひしひしと伝わってきました。新6年生は、平荘小学校の最高学年として立つ姿勢や聞く姿勢等、全校生の手本となる立派な態度でした。5年生も高学年としての自覚が感じられる態度でした。2～4年生も、落ち着いた態度で式に臨めました。2～4年生は、5・6年生に挟まれ、よき手本を肌で感じながら式に参加することができました。

一人一人が、「今年度は、どんな一年になるかな。」
「～を頑張りたいな。」と、期待に胸ふくらませているのがよくわかりました。

6年生の『最高学年』としての気構えは、本当に素晴らしいものです。初日から成長を感じました。



校歌を歌いました。
歌詞の意味をかみしめながら歌いました。



登下校について確認します。

●班長は、横断歩道の手前で、一旦停止をし、左右の安全確認をしてから、進行方向に向かって班旗を出します。班旗が、車を運転している人によく見えるようにします。

●班員は、班長が班旗を出した時に飛び出すのではなく、自分でもしっかりと安全確認をしてから進みましょう。飛び出さないようにしましょう。



学校生活について、お知らせします。

- マスクはつけても、つけなくてもいいです。（「マスクの着用を求めないことを基本とします」）友だちがマスクをつけているからといって、または、逆にマスクをつけていないからといって、友だちが嫌な思いをすることがないように気をつけましょう。
- 今年度から、生活時程が変わります。チャイムが鳴らない時があります。時間を意識して行動しましょう。（R6年度開校の両荘みらい学園の生活時程に近づけています）